

大会運営規定

1. 各チームとも試合開始 30 分前（2 試合目のチームは前の試合の 3 回終了後までに）には打順表を提出し登録原簿と照合した後に先攻後攻の決定を行う。
2. ベンチは組合せの若番を一塁側とする。
3. 試合中ベンチに入ることのできる人員を次の通り制限する。責任者、登録選手、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）
4. 試合前のシートノックは 5 分間とし、ノッカーは必ずユニフォームを着用すること。尚、大会運営上シートノックを行わない場合もある。
5. 試合前の球場内でのフリーバッティングは認めない。
6. バットリング、マスコットバットの使用は認めない。
7. 試合回数は全試合トーナメント方式 7 回戦とし、得点差（5 回以降 7 点差）のコールドゲームを適用する。
8. 規定の 7 イニングを終了し同点の場合はタイブレークとする。なお、勝敗が決するまで順次継続して実施する。
 {タイブレーク}
 継続打順の無死一、二塁とする。したがって、前回の最終打者を一塁走者とし、二塁走者は順次前の打者とする。
9. 大会使用球は（公財）全日本軟式野球連盟公認球 M 号とする。（ナイガイ）
10. 打順表は 6 部提出し、事前照合の後、前の試合の 4 回終了後を目途に大会本部にて交換する。
11. 打者、次打者、走者及びベースコーチはヘルメットを、又捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レグガードを必ず着用すること。
12. 上記及び金属バット、捕手用マスクは公認マーク入りのものを使用すること。
13. 出場選手及び監督、コーチはユニフォーム（背番号 0 番から 99 番までとし、監督 30 番、コーチ 29 番、28 番、主将 10 番とする。）を着用すること。
14. 試合は、無駄な時間を省きスピーディーに行うこと。
15. 本規定に定めていない事項、明確でない事項は、（公財）全日本軟式野球連盟の定める規定・規則による。
16. 最終試合となったチームは試合終了後、ダッグアウトの清掃を行うこと。